BUNTO NEWS ぶんと通信

VOL.100

目次

伊賀の文化を支え続けて――川崎克翁・・・・ ❷
地域文化「開花」の百年／Voice名張から・・ ❸
伊賀アウトサイド／リニューアルしました・・ ❹
エッセー「賢人・凡人・宇宙人」・・・・・・ ❺
イベント情報／聴いて観てだぁこ・・・・・・ ❻〜❽

創刊100号記念号

ぶんと通信が変わりました

第100号　2015年6月15日発行　　（公財）伊賀市文化都市協会

伊賀の文化を支え続けて
川崎 克 翁

川崎克は明治13年、油屋を営む旧士族の長男として生まれた。幼名は川崎家代々の「喜」の一字を有した喜三郎。負けず嫌いの性格は尋常小学校時代から顕著で、手に負えない腕白ぶりであった。どんな遊びをしてもガキ大将よろしく、その頭目にならないと承知しなかった。一方、当時の校長が開いていた塾に通い、学問の上でも群を抜いていて、彼の書道及び漢籍の素養はこの時に培われていた。

高等小学校卒業後、しばらく家業の手伝いをしていたが、縁あって伊賀で創設された八十三銀行に勤めることになった。がしかし、彼の性格はサラリーマン生活に満足できず、当時の社会風潮の影響もあって特に政治に興味を持ち心を惹かれていった。

▲ 伊賀焼の作品「花入」

人一倍勝気で、向上心に燃えていた彼は、仲間を誘い「青年同志会」を組織し、毎月一回、講演会や勉強会を開き修業に努めた。会報誌「鳳声」を隔月発行し「青年元気の振興、新文字の奨励、あらゆる産業の活性、極力以って伊山天地に寄与」することを訴えた。後の伊賀上野城天守閣復興や俳聖殿建立につながる地元貢献の心意気がうかがえる。

明治31年、尾崎咢堂（行雄）を頼り上京。尾崎家の書生として勉学に励み、22歳の時、日本法律学校を卒業する。

同36年、恩師の尾崎が東京市長になり、秘書役を担当していた彼も付随して市役所入りし3年間勤める。激動の時代において、市役所の一書記として単純な生活を送ることにまだ若かった多感な彼は耐えられず、日本新聞の記者として働くことになる。

同40年、喜三郎から「克」へと改名、また尾崎夫妻の媒酌で康子夫人と結婚する。

大正4年、かぞえ年36歳の時、満を持して衆議院議員に立候補し強力なライバルに打ち勝ち初当選を果たす。本年はその初当選以来百周年に当たる。

尾崎や日本経済界、日本資本主義の父とも言われる渋沢栄一の引き立てを受けるなどの人脈は彼の人柄を物語っている。

彼ほど努力し精進した者はいない。趣味の世界においても同じで、伊賀焼陶芸はもとより、茶道、書道、絵画、骨董の分野において素人の域を越えていた。特に陶芸に惹かれた彼はふるさとの古伊賀の蒐集、研究の分野で知識と鑑賞眼が昂じて「伊賀及信楽」を著し、全国の茶道仲間の間で評判になった。

昭和7年、かねてから「上野に天守閣があったらいいのにな」という思いを実現しようと決断し、周辺の町村長・議員等の大賛成を得て行動する。彼が世話をした木本町（現熊野市）の奥川吉三郎から材木の提供を受け、寄付を募り、自身の蒐集した伊賀焼の名品コレクションを競売にかけて建築資金を作った。同10年10月18日、天守閣は見事完成した。本年、復興80周年を迎える。

彼の基本的精神は「攻防作戦の城は亡ぶる時あるも、産業の城は人類生活のあらん限り不滅である」であり、戦の拠点でなく文化、産業の拠点、観光の発信地という考えのもと、「伊賀文化産業城」と命名した。

同17年、松尾芭蕉翁生誕三百年を記念して俳聖殿を建立したのも川崎克である。世はまさに戦争の暗雲がたち込めようとする中、伊賀で生まれた芭蕉翁顕彰に心を砕き、完成させた心意気は余人にはとうてい出来ることではなく、地元に対する愛情、その貢献は筆舌に尽し難い。

▲ 書画作品の「鷹」

※文中敬称略（表紙写真は川崎 克氏）

【協力】(公財)伊賀文化産業協会
【参考文献】「川崎克伝」
（広報事業委員　池澤基善）

地域文化「開花」の百年

伊賀の百年**(年表参照)**を振り返ると、伊賀鉄道のルーツである伊賀軌道の開業をはじめとした社会基盤の整備を背景として、さまざまな文化活動が勃興した。その原動力となったのが、川崎克氏に代表される先人たちの活躍である。

「伊賀市史」(通史編・近現代)では、川崎氏や田中善助氏らの名を掲げて「政治・経済などの分野において活躍した人物が、ある時は直接文筆を執り文芸・芸術にいそしみ、ある時は文化活動を側面から支えたことが、近代伊賀の文化史上大きな役割を果たした」と記し、地域文化の開花を特徴的にとらえている。

資料をもとに伊賀の主な文化・芸術の動きを拾い上げると―。

伊賀で最初の文学同人誌とされる「初楓」の創刊(1906年)を背景に、1923(大正12)年に「伊賀公論」が刊行。1933(昭和8)年には雑誌「郷土」が月刊で発行され、その伝統は戦後の「山望」「関西派」、さらに「市民」「月刊現代」「伊賀百筆」へと発展した。また、伊賀の歴史を語る「伊賀史談会」(1910年発会)、夜間の向学道場となった「上野読書会」(1938年発会)が合体し、1948(昭和23)年に「伊賀郷土史研究会」が誕生した。

興行としては1921(大正10)年に劇場「相生館」が誕生し、同年にそれまで劇場だった旭座が常設映画館に。戦後は「上野映劇」「上野東映」なども開館した。1946(昭和21)年には「上野文化会」が発足し、一流の音楽家を相次ぎ招へい。一方、疎開した人々からの影響がきっかけとなって各地でサークル活動も盛んとなり、「文化都市」の様相を強く示すようになった。

劇団上野市民劇場が産声を上げたのは1953(昭和28)年のことで、県内で最も歴史ある市民劇団としてこんにちの伊賀の舞台芸術を支えている。

芭蕉を生んだ土地柄から俳句人口が多く、しぐれ忌・芭蕉祭の創設や全国結社の俳誌創刊などの歴史を刻みながら、現在も市民文化の1つとして根付いている。短歌はアララギ系の活動が中心だったが、今ではさまざまな短歌会がある。絵画は、「上野美術クラブ」や「チャーチル会上野」などが、息の長い活動を続けている。

伊賀百年年表

1916年	大正5年	伊賀軌道	上野駅連絡所（現伊賀上野駅）―上野町（現上野市駅）間で開業
1935年	昭和10年	伊賀上野城	川崎克氏が天守閣を復興。「伊賀文化産業城」と命名
〃	〃	スケートリンク	高旗山に天然のスケート場としてオープン
1942年	昭和17年	俳聖殿	川崎氏が松尾芭蕉の生誕３００年を記念して建設
1952年	昭和27年	世界こども博覧会	白鳳公園（現上野公園）で開催。大勢でにぎわう
1953年	昭和28年	二八災害	集中豪雨が伊賀を襲い地滑りや家屋倒壊など甚大な被害
1964年	昭和39年	伊賀流忍者屋敷	上野公園内に土豪の屋敷を移築し開館
1965年	昭和40年	名阪国道	開通により大阪、名古屋がより近くに
1991年	平成3年	上野市文化会館	文化活動拠点として開館（現伊賀市文化会館）
2004年	平成16年	伊賀市制施行	上野市ほか5町村の合併により誕生
2014年	平成26年	芭蕉生誕370年	記念事業が多彩に催される

Voice 名張から

得難い環境　いつまでも

中内（なかうち）　仲（ひとし）

田圃の真ん中に住んでいるので、隣に店があるわけではないが、車を５分も走らせれば大型のスーパーやコンビニもあり、日常の生活に不便はない。それこそ車で20～30分も行けば、柱状節理の美しい渓谷や、清流など大自然の中に身を置く事もできるのである。

今年もゴールデンウィークに、関東に住んでいる息子が帰省した。我が家の裏にある堤に上り、ここから見える水田の風景や、そこに沈んでいく夕陽は最高に美しいと話す。そう言えば最近、夕方になると三脚を立てカメラを構える人をよく見かける。

この地にも約30年前、宅地開発の計画が持ち上がり、いよいよこの辺りも団地になるのかと、少し淋しい思いがしたが、幸か不幸かバブルの崩壊でその話は潰えた。多少その後の農道整備で景色が変わったものの、ときおり都会から来る人が、昔の宿場町の風情が好き、空気や星がきれいと、生えているススキ一本を見ても感激して帰る。

人々の価値観も変化した。しかし、この得難い環境がいつまでも変わることのないよう願っている。

▲ 堤の並木と水田のある風景

（組紐作家・堤側庵ギャラリー主宰）

伊賀アウトサイド

ミラノde 伊賀酒

「食」をテーマにした国際博覧会が５月１日、イタリアのミラノで開幕しました。10月31日まで、およそ150の国と地域、国際機関が参加し、期間中に約２千万人の来場者が見込まれています。

日本館は会場内でも最大規模となる敷地面積を持ち、木の格子を生かした外観や入口に飾られた酒樽はひときわ目を引きます。

「Harmonious Diversity　共存する多様性」をテーマに、日本の豊かな食文化をとりまく様々な取り組みや知恵と技が、未来の共生社会を切り拓く可能性について184日間にわたり発信されます。

伊賀市は伊賀上野ＮＩＮJAフェスタ実行委員会ほか各種団体協力のもと、６月28日から30日の３日間、「伊賀流忍者の精神と食文化」というタイトルで、世界に通用する「ＮＩＮＪＡ」をキーワードに出展します。伊賀が忍者の源流であることをＰＲし認知度を高めるとともに、豊かな自然と多様な知恵と技に育まれた伊賀の食文化と伝統工芸品を紹介します。

そのプログラムの一つに、日本館イベントスペースでの伊賀焼の猪口を使った伊賀酒の試飲があります。国際博覧会というハイレベルのステージで「伊賀ＮＩＮＪＡと伊賀の酒」の世界観をよりインパクトのあるものに、とのコンセプトで計画。市観光戦略課と地元ガラス瓶メーカー、酒類卸が中核となり、蔵元、窯元はもとよりデザイナーや印刷会社、観光関係者等、様々な人や企業のコラボでの取り組みとなりました。

このイベントと伊賀NINJAブランド構築の試みは、「秘蔵の国・伊賀」のさらなる可能性と共存する多様性の新たな扉を開くものとして大いに期待されます。

（広報事業委員　菊野善久）

▲ ミラノ万博に出品する伊賀酒

リニューアルしました

1998（平成10）年８月の創刊準備号を経て17年、「ぶんと通信」は100号となりました。これを記念に紙面を大幅にリニューアルいたしました。

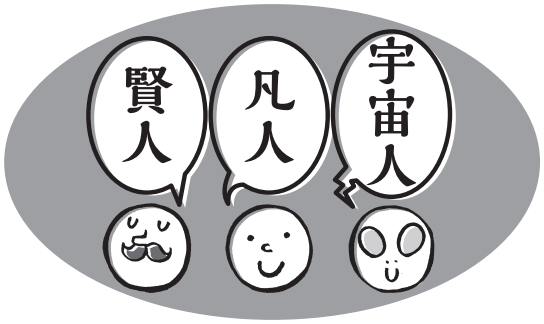
さて、その内容とは？

巻頭では過去に功績を残された、あるいは現在活躍されている、または未来に期待する「伊賀びと」にスポットをあて紹介して参ります。このほか、伊賀以外にある伊賀にまつわる人や物などの紹介や、旅先でのふと感じるふるさとへの想いを徒然につづる「伊賀アウトサイド」、名張市民の想いを紹介する「Voice名張から」などのコーナーを新設し、従来コーナーと合わせて盛りだくさんにお届けします。

さらに、新しく北泉優子委員長のエッセー「賢人・凡人・宇宙人」が始まりました。健筆をお楽しみください。７ページからの「イベント情報」では、企画時でのスタッフの意気込みや想い、裏話もこっそりお伝えします。8ページの「聴いて観てだぁこ」はおすすめイベントをスタッフの想いをこめて紹介。今回は新規事業の「ぶんとキッズ・アカデミー」で、６月公演に向けての幼児とお母さん触れ合いの様子などを取り上げました。

表紙、裏表紙がフルカラーとなり新コーナーも充実した「ぶんと通信」を、今後ともご愛読いただきますよう…。

（広報事業委員一同）



No.1 北泉優子

家政婦は来た

50歳に手が届くころ、東京・新宿の大学病院で、胆のうの摘出手術をした。術後は良好で、そのせいか、まだ抜糸が済まないのに、半ば強制退院させられた。胆のう摘出など、盲腸の次に簡単なもの。生死にかかわる重症患者が山といて、入院を待っているから、病室を空けてほしいのだと、主治医は言った。

「でも先生、まだ抜糸してないのでしょう?大丈夫なんですか?」

「もちろん。最後まで、きちんと治療しますよ。タクシーでワンメーターの参宮橋に住んでいるんだから、通ってらっしゃい」

「わたし、独り暮らしで、世話をしてくれる者がいないんです。せめて買い物に行けるまで置いてください」

「そのあいだに、幾人かのがん患者が、手遅れで亡くなっても、北泉さんは平気?」

こんな会話があって、首をタテに振るしかなかったのだ。医者から、様々の注意を受け、ついでに、婦長さんから、渋谷の家政婦斡旋所を紹介され、まだチクチク痛いお腹をかかえて退院した。

そして、家政婦が来た。えらく丁寧な挨拶で、行儀も良かった。ああ、いい人が来てくれた。と思ったのだが―。

ふと手元を覗き見すると、驚いたことに、上司の指示なのか、挨拶の言葉も、その動作も、全部広げていた手帳にメモってあるのだ。彼女は、それをまるで台本を片手に演ずる俳優のように、なぞっていただけ。

何?この人。まるで異邦人みたい。

次の瞬間から、わたしと彼女の、静かなバトルが始まった。バトルと言っても、家政婦の宇宙人ぶりに、わたしがどこまで我慢できるか、だったけれど。

「お昼、うなぎ頼みたいなあ。座っているだけの人と違って、こっちは、働いているんだから」

「はあ?」。絶句したものの、やっと立ち直って、

「わたし、うなぎは嫌いなの。やわらかいご飯炊いてちょうだい。おかずは任せるわ。まだ病人食なのよ」

「そんな面倒くさいこと…店屋物で済ませりゃいいですよ」

あなたは、この家に何をしに来たの!?と怒鳴りたくなる気持ちをぐっとこらえて、初日ぐらいご馳走するかと、なじみのそば屋へ電話してもらった。

「かけそば一人前と、上等の天ぷらそば大盛り!」

天ぷらそばなんか、まだ食べられないと制しかける前に、受話器を置いた彼女は、ケロリとして、のたまわった。自分が食べるのだと。ああ、この人、宇宙人だ!

掃除をさせると、四角い所を丸く掃除機をかけ、洗濯を頼むと、排水管を逆にして、ダイニングの敷きつめたじゅうたんを汚水びたしにし、白身の魚を煮てちょうだいと言うと、切身二切れに鍋いっぱいの醤油を入れ、ヒラメが醤油のなかで泳いでいた。炊飯器の使用法を教え、炊いてもらったが、米を研がずに炊き、ヌカくさくて口に入らなかった。今みたいに無洗米のない時代の話ですよ。

仕方なく、夜も出前をとることにした。今度は、わたしが電話した。常連のすし屋である。

「だて巻の握りとカッパ巻で一人前―」

とたんに受話器をひったくった彼女は、「特上ちらしと握り。握りももちろん特上だよ。すぐ持ってきて!」

特上はどちらも3千円だ。いったい、誰が支払うのよ!!

お腹の痛さも忘れ、思わず叫びそうになったが、ぐっと自分の気持ちを殺した。

これが、たった一日の出来事である。宇宙人の女は、特上ずしを二人前ペロリとたいらげると、勤務時間終了とばかりに上機嫌で帰っていった。

わたしは、即、斡旋所に連絡し、別の人を頼んだ。女所長の話によれば、宇宙人は、この日が初めての新人。人柄も見抜けず派遣したことを、幾重にも詫び、女もクビにすると約した。所長は翌日、すごくいい人をよこしてくれた。その家政婦さんには、親身で世話をしてもらった。おかげで抜糸も済み、買い物の許可も出た。

半月後、女所長から報告があった。宇宙人は、都内のどこかで、たった2千円の無銭飲食で捕まったそうだ。身元引受人は誰もいなかったという。

あの宇宙人、まだ生きているのかなあ。

◇

このシリーズは、わたしが80年近い人生でめぐり逢った人々とのエピソードを披露するもの。時に実名で書くかもね。ご期待のほど。

（作家・市内在住）

ホール・ドームこれから情報

あやま文化センター

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
6/20(土) 10：00～	タッチ･ザ･スタインウェイ	参加費500円（要予約）	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125(ふるさと会館いが)
6/28(日) 14：00～	三重県内男女共同参画連携 映画祭2015	無　料（要整理券）	伊賀市人権政策･男女共同参画課 ☎22-9632(岩野)
7/12(日) 12：30～	Soaveピアノフェスティバル 2015	無　料	(株)さわ楽器 ☎23-8080
7/23(木) ①12：30 ②18：00	ふれあい歌謡祭 (角川博･川野夏美･ひなたみな･山城けんいち･三川ゆり)	3,500円（自由席）	山城けんいち ☎090-5864-3397(山中)

ふるさと会館いが

日時	催し物	場所	入場料	主催・問い合わせ
6/21(日) 10：15～	エレクトーンフェスティバル ソロ演奏部門2015	小ホール	無　料	(株)さわ楽器 ☎23-8080
6/28(日) 14：00～	第22回　あい･愛コンサート	大ホール	前売　500円 当日　700円	あい･愛コンサート実行委員会 ☎45-4527(塚脇)
7/25(土) 10：00～	タッチ･ザ･スタインウェイ	大ホール	参加費500円（要予約）	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125(ふるさと会館いが)
8/9(日) 16：00～	デビュー40周年特別記念コンサート 宗次郎オカリナコンサート	大ホール	前売　3,000円 当日　3,500円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511

ゆめドームうえの

日時	催し物	使用競技場	主催・問い合わせ
7/4(土) 8：50～ **7/11(土)** 8：50～	第10回伊賀中学生卓球交流会	第　—	伊賀中学生卓球交流会実行委員会 ☎52-1170(内田)
7/12(日) 9：00～	第25回全日本ドッジボール選手権 三重県大会	第　—	三重県ドッジボール協会 ☎059-378-3920(事務局)
7/29(水) 8：30～	平成27年度　第68回 三重県中学校バスケットボール大会	第　—	三重県中学校体育連盟 ☎65-1244(名張市立北中･岡田)
8/8(土) 13：00～ **8/9(日)** 10：00～	東海中学校総合体育大会 柔道大会	第　—	東海中学校体育連盟 ☎0596-52-5075(明和中･水野)

伊賀市文化会館

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
6/28(日) 13：30～	ぶんとキッズ ファースト･パフォーマンス	無　料	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
7/5(日) 14：00～	避難訓練コンサート	無　料（先着300名）	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
7/19(日) 13：30～	第47回慈善吹奏楽演奏会 チャリティーコンサート	500円	主催:伊賀吹奏楽連盟 共催:伊賀市文化都市協会 ☎65-1721(名張桔梗丘高校･和田)
7/20(月･祝) 14：00～	ピアノ発表会	無　料	三響楽器 ☎43-1705(伊藤)
7/30(木) 18：00～	ファーストコンサート	無　料	名張桔梗丘高校 ☎65-1721(和田)

青山ホール

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
6/21(日) 10：00～	第8回江州音頭七夕フェスタ in 伊賀 ～玉家三代家元「好玉」･初代家元「青山」襲名披露～ 併催:伊賀ふるさと音頭地域交流会	無　料	江州音頭･祭文音頭伊賀青山会／伊賀ふるさと音頭連合会 ☎090-3157-3039(竹岡)
6/28(日) 13：00～	2015 Blue Echo Concert 思い出をあなたに……	2,000円（全席指定）	青山文化サークル連絡協議会 Blue Echo ☎090-6072-2180(福嶋)
7/4(土) 19：00～	NEO RESISTANCE QUARTETTO CONCERT TOUR 2015	一般2,000円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
7/5(日) 13：00～	ピアノ発表会	無　料	乾・延山 ☎65-8055(延山)
7/11(土) 13：00～	青山老人クラブ連合会 福祉大会	無　料	青山老人クラブ連合会 ☎55-2435(森永)
7/25(土) 1000(予定)	第40回記念 名張ピアノコンクール	無　料	名張文化協会 ☎64-2132(辻村)
8/1(土) 14：00～	キッズ･アカデミー体験レッスン	無　料	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
8/8(土) 10：00～	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費500円（要予約）	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109(青山ホール)

太極拳教室

日 毎週土曜日10回講座
　第２期　7月4日～9月19日　※8/15，8/22休講
　受付9:30～／時間10:00～11:30
所 ふるさと会館いが会議室　¥5,000円　定 20名　講 横山　公則先生
受 6月21日(日)午前10時からTEL45-9125で受付　対 一般

エアロビクス

日 毎週月曜日10回コース
　第3期　9月7日～11月30日　※9/21，10/12，11/23休講
　受付19:30～／時間19:45～20:45
所 阿山B＆G海洋センター　¥ 5,000円　定 35名　講 山下　華子先生
受 6月27日(土)午後2時からTEL22－0511で受付　対 一般

ノルディックウォーキングを体験してみよう！ Vol.8

日 7月９日(木)
　受付10:30～／時間11:00～12:00
所 上野運動公園　¥ 200円　※ポール貸出無料　定 50名
受 6月20日(土)午前10時からTEL22－0511で受付　対 一般

元気ママ，ママ＆ベビーの３Ｂ体操

日 毎週火曜日10回コース　第3期　9月8日～11月24日　※9/22，11/3休講
　時間　元気ママクラス　10:00～10:50　ママ＆ベビークラス　11:00～11:50
所 ゆめドームうえの　¥ 5,000円　定 各15組　講 ㈳日本３B体操協会公認インストラクター　受 6月24日(水)午前10時からTEL22－0511で受付
対 元気ママクラス…１歳以上の未就園（所）児と保護者
　ママ＆ベビークラス…生後３ヶ月～１歳未満の乳児と保護者

フラビクス　NEW!!

日 木曜日４回コース
　7/16　7/30　8/20　9/10
　受付10:30～／時間11:00～12:00
所 伊賀市文化会館　¥ 2,000円　定 25名　講 東久保　里奈先生
受 6月25日(木)午後1時からTEL22－0511で受付　対 一般

Let's YOGA in 文化会館

日 毎週水曜日10回コース
　第3期　9月9日～11月18日　※9/23休講
　受付10:30～／時間11:00～12:00
所 伊賀市文化会館　¥ 5,000円　定 25名　講 中　依伊子先生
受 6月24日(水)午後1時からTEL22－0511で受付　対 一般
　※1回の電話で３名まで

骨盤矯正ストレッチ

日 毎週火曜日10回コース
　第3期　9月1日～11月17日　※9/22，11/3休講
　受付12:30～／時間13:00～14:00
所 伊賀市文化会館　¥ 5,000円　定 25名　講 辻　明子先生
受 6月23日(火)午後3時からTEL22－0511で受付　対 一般

ZUMBA

日 毎週木曜日10回コース
　第3期　9月10日～11月12日
　受付19:00～／時間19:30～20:30
所 上野運動公園体育館　¥ 5,000円　定 30名　講 川南　林恵先生
受 6月27日(土)午前11時からTEL22－0511で受付　対 一般
　※1回の電話で３名まで

マットエクササイズ

日 毎週月曜日10回コース
　第3期　9月7日～11月30日　※9/21，10/12，11/23休講
　受付10:30～／時間11:00～12:00
所 上野運動公園体育館　¥ 5,000円　定 20名　講 阿部　和矢先生
受 6月22日(月)午後1時からTEL22－0511で受付　対 一般
　※1回の電話で２名まで

Let's YOGA in 武道館

日 毎週金曜日10回コース
　第3期　9月18日～11月27日　※10/23休講
　受付10:30～／時間11:00～12:00
所 伊賀上野武道館　¥ 5,000円　定 15名　講 錦　真奈美先生
受 6月26日(金)午後1時からTEL22－0511で受付　対 一般
　※1回の電話で２名まで

日日時 所場所 ¥料金 定定員 講講師 受申込受付 対対象者

お問合せ：(公財) 伊賀市文化都市協会本部事務局　電話　22－0511

芸術(舞台)用語　**<迫り（せり）>**　舞台床の一部を切り取り、その部分を電動または手動で上下させる舞台機構。役者や舞台装置をのせて、役者の登場や退場、舞台転換をする。
（全国公立文化施設協会発行「舞台用語ハンドブック」より）

カルチャーサポートイベント

あなたの思いを形に

イベントのアイデアはあるけど、開催までの進め方がわからない。PR方法なども不安―。

日頃、ぶんとスタッフとしてホール事業を進める中で、「市内には、こんな思いを抱く人々や芸術団体が意外と多いのでは？」と感じてきました。そこで、ぶんとが公演や展示会などを共同制作という形で応援する制度を設けました。題して「カルチャー・サポート・イベント」です。

音楽、演劇、ダンス、古典芸能、作品展など、イベントのアイデアと芸術文化活動への思いをぶんとに寄せて下さい。スタッフが一緒になって取り組みを進め、実現へのお手伝いをしたいと思います。提案いただいたイベントについて、ぶんとが出演料や舞台経費など諸経費の一部を負担（最大30万円）するほか、会場の使用料を全額免除し、ポスター・チラシを作製します。

「入場料金を1人1,000円以内に設定」「会場収容人数の70％以上の集客目標」―など、応募の要件を募集要項にまとめましたので、詳しくはぶんとホームページか市内の公共施設等に配布したチラシをご覧ください。7月31日まで応募を受け付けます。イベントの実施期間は9月1日から来年3月31日までで、採用は1～2事業とします。

アイデアをもとにどのようなことができるか―など、具体的なことも相談に応じます。気軽にお問い合わせください。

（担当・杉本洋之）

アンケートから

クラシックの い★ろ★は

お客様の〝感動〟に感謝！

難しいと思われがちのクラシックを、馴染みのある作曲家の曲を指揮者の解説とともに楽しんでいただく新企画コンサート「クラシックのいろは」。Vol.1公演（4月19日、伊賀市文化会館）のお客様アンケートから主な声を紹介します。

「とても感動しました。生で聴く音楽（クラシック）は、すばらしいです」（60代以上女性）。**「大変わかりやすいクラシックで良かったです」**（60代以上男性）など、初めて生演奏に触れたという方々から感動の声をいただきました。新企画に対しての感想として、**「テレマンを延原さんの解説でこの料金で聴くことができて大感激です。これぞ文化事業です」**（60代以上女性：県外）という担当者にとって大変嬉しいお言葉もいただきました。

一方で、**「安すぎます。こんなレベル高いメンバーに失礼だと思う程ですが、本当に素晴らしかった」**（40代女性：県外）という意見もありました。確かにご指摘の部分もありますが、クラシックファンを1人でも多く増やせないかと、まずは「価格の敷居」を下げようと考えた末の料金設定（500円）です。どうかご理解ください。

公演中のホールの寒さを指摘する声もありました。出演したテレマン室内オーケストラは、温度に敏感な200年以上前の「クラシカル楽器」を使用しており、最良の演奏を提供してもらおうと敢えて空調を止めました。そういう対応もクラシックへの理解につながるのではないかと思います。

クラシックのいろはは11月のVol.4まであと3回開催します。大勢のご来場をお待ちしています。

（担当・友田律子）

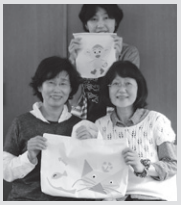
図書館布バッグ

「世界に1つ」をつくろう

布の絵本作成グループ「チクチク」が7月25日（土）、26日（日）の両日、借りた本を入れる「図書館布バッグ」づくりを上野図書館で開催します。オリジナルの布バッグを作ってみたい小学生のみなさんの参加をお待ちしています。

布の絵本は、視覚や触覚を使って楽しみながら学ぶうちに、集中力や観察力・作動能力を養うことができます。チクチクは昨年、ぶんとの講座参加者の有志が集まって結成され、現在は16人のメンバーがいます。毎月第3火曜日に上野図書館に集まり、たくさんの子どもたちに本を借りてもらおうと、一針一針、心を込めて布の絵本づくりに取り組んでいます。

今回の図書館布バッグづくりは上野図書館と共同で企画しました。両日ともメンバーが講師となり、準備した布バッグにフェルトなどを接着して絵柄を作り、世界に1つしかないオリジナルの布バッグづくりを楽しんでもらいます。この催しが、図書館を利用するきっかけにもなってほしいと考えています。



日時：7月25日㈯、26日㈰
　　午後1時30分～
場所：伊賀市上野図書館
料金：600円（布・ボンド代など）
定員：各回20人（小学3年以下は保護者同伴）
申込：7月11日（土）午前9時から電話21-6868（上野図書館）で受付

二胡に挑戦！

気軽に体験しませんか？

昨年度に好評を得た楽器体験シリーズ「二胡に挑戦！」。本年度はVol. 2として開催を決定し、7月4日（土）から新たに受講者を募集します。東洋のヴァイオリンとも呼ばれる二胡を気軽に体験・演奏してみませんか？

経験豊富な講師（梁天任氏）が二胡の構え方、音の出し方など基本から丁寧に手ほどきします。講座は午後の部と夜の部に分け、8月28日（金）から12月6日（日）までの各8回、あやま文化センターで開催。演奏の喜びを感じながら独特の美しい響きを楽しんでください。成果発表として最終受講日の12月6日にはコンサートに出演していただけます。

対象は昨年度の受講者を除く小学4年生以上の初心・初級者。参加料は8,000円。二胡はぶんとで用意します。詳しくはお問い合わせください。

第12回ゆめテクノ伊賀・こども大学

□日時　8月7日(金) 午前の部　9:30～
　　午後の部　13:30～
□場所　ゆめテクノ伊賀3Fテクノホール
□料金　無料
□定員　各部30人（抽選）
□対象　小学生※3年生以下は保護者同伴
□内容　「手作りのねり消しを作ろう！」（荒木名誉教授）／「声に反応して光る動物を作ろう！」（加藤特任教授）
□申込方法　チラシ、ぶんとHPをご覧いただき、官製はがきで応募
□締切　7月10日（金）当日消印有効
□問合せ　ゆめテクノ伊賀
　　℡41－1061
　　※平日9時～17時

タッチ・ザ・スタインウェイ

～世界最高峰のスタインウェイを気軽に弾いてみませんか！～

■ふるさと会館いが　7月25日(土)　10:00～17:00
■青山ホール　8月8日(土)　10:00～17:00
□演奏時間　1枠30分　※1人1枠のみ
・申込者本人のみ利用。
・音楽教室等の指導としての利用不可。
□参加費　500円
・青山ホールに限り、2台のピアノ利用の場合は2人以上1組1時間で1人1,000円（ただし8手の場合は1人500円）。
・1枠に3人以上の使用は不可（2台の場合は除く）。
□募集人数　各14枠　※先着順
□申込方法　6月20日（土）
　　午前11時から電話受付
□申込先
●ふるさと会館いが　℡45－9125(月曜休館)
●青山ホール　℡52－1109(水曜休館)

芸術(舞台)用語　**<アウトリーチ>**　「手を伸ばす」の意から「地域への奉仕、援助、福祉活動」「公共機関の出張サービス」などの活動の総称。近年は施設の外で実施される文化事業の総称。芸術普及、館外活動といわれることもある。

ぶんと通信

聴いて観てだぁこ

親子の触れ合い　暖かな気持ちに

ぶんとキッズアカデミー 親子で楽しむ

伊賀市文化会館のリハーサル室。4月に開講した「ぶんとキッズ・アカデミー」のレッスンは毎週、お母さんと子どもの笑顔にあふれています。音楽とダンスを組み合わせた新しい形の事業としてスタートしましたが、親子が本当に楽しそうに触れ合う姿は、すべてが感動であり、暖かい気持ちにさせてもらえる時間です。

レッスンはピアノとダンスの2人の先生の指導をもとに、親子が音楽に合わせて体を動かします。リズムによって歩調を変えたり、床に寝てゴロゴロ回転したり。ときにはカスタネットや鈴を鳴らして動きを表現します。中には、突然走り出したりお母さんに甘えて動かない場面もありますが、お母さんたちは叱らずに見守っています。子どもの目線で気持ちを大切にすることはきっと、お母さんだからできる優しさなんだと感動します。

自分がそうだったように、お母さんは暮らしの中で子どもとゆっくり向き合う機会が少ないのかもしれません。でも、このレッスンの空気はまったく逆です。前回習った難しいレッスンを忘れずに体が動かせるのは、家庭でも親子が練習してスキンシップを図っている証拠だと思うのです。そして、事業のもう1つの目的だった参加者どうしの交流も、回を重ねるごとに進んでいます。

「ぶんとキッズファースト・パフォーマンス」と題して文化会館のステージでレッスンの成果を発表します。親子の微笑ましい姿を多くの人に観てもらいたく思います。秋には第2期を開講する予定で、それに向けて8月1日（土）午後2時から、青山ホールで体験レッスンを開催します。どちらも無料ですので関心のある方はぜひお越しください。

（担当・百南佐織）

ぶんとスタッフとして過去、こどもミュージカルの公演や能楽のアウトリーチ（**7ページ欄外に用語解説**）などを通して子どもたちと接してきましたが、今回は「親子で楽しむ」ことに力点を置いています。参加のみなさんや2人の先生とも目指す方向は同じであり、私としてもやりがいを感じています。

6月28日（日）午後1時30分から、

読者の情報をお待ちします

ぶんと通信は今回から紙面を大幅にリニューアルしました。伊賀にこだわった話題提供で地域文化の向上を目指すという編集方針は、創刊いらい変わりませんが、市内にはまだまだ、編集スタッフの知らない文化情報があるはずです。ユニークな話題、新しい取り組みなど情報をお待ちします。ぶんと通信への意見・要望なども下記まで寄せてください。

(公財)伊賀市文化都市協会
TEL.0595-22-0511　FAX.0595-22-0512
〒518-0809 三重県伊賀市西明寺3240番地の2
Eメール samazama@bunto.com
ホームページ http://www.bunto.com

BUNTO チケット情報

NEO RESISTANCE QUARTETTO CONCERT TOUR 2015

7/4（土） 好評発売中
開場18：30　開演19：00
一　般　2,000円
（全席指定）
青山ホール

デビュー40周年特別記念コンサート
宗次郎 オカリナコンサート

8/9（日） 好評発売中
開場15：30　開演16：00
一　般　3,000円
（当日500円増）
（全席指定）
ふるさと会館いが

大澤誉志幸 with 山下久美子
真夏の夜の Soulful Night

8/30（日） 好評発売中
開場18：30　開演19：00
一　般　3,000円
（全席指定）
青山ホール

平原綾香
CONCERT TOUR 2015 ～Prayer～

9/27（日） 6/27（土）発売
開場17：00　開演17：30
一　般　6,800円
（当日500円増）
（全席指定）
伊賀市文化会館

竹田京右
ONE MAN HALL CONCERT ～希望～
9/6（日） 6/20（土）発売
開場17：30　開演18：00
一般2,500円　小学生以下1,500円
（当日各500円増）（全席自由）
伊賀市文化会館

AUN J クラシック・オーケストラ CONCERT 2015 in 三重
10/31（土） 8/1（土）発売
開場14：15　開演15：00
一般 3,500円
（全席指定）
伊賀市文化会館

クラシックのいろはVol.3
チャールダッシュ in 伊賀上野 テレマン「秋の音楽祭」
9/13（日） 好評発売中
開場14：30　開演15：00
一般 500円
（全席自由）
伊賀市文化会館

劇団四季ミュージカル クレイジー★フォー★ユー
11/6（金） 8月発売予定
開場18：00　開演18：30
S席8,000円 A席6,000円
B席3,000円（予定）
（全席指定）
伊賀市文化会館

●チケットのお問い合わせ●
伊賀市文化会館 青山ホール　TEL.0595(24)7015　TEL.0595(52)1109
ふるさと会館いが あやま文化センター　TEL.0595(45)9125　TEL.0595(43)1125